

問1 20世紀初頭のヨーロッパにおいて、急速に軍備を増強し世界政策を展開するドイツを警戒し、イギリス、フランス、ロシアの3カ国の間で成立した協力関係を何といいますか。（2017年 山口公立入試 類似）

1. 三国協商 2. 三国同盟 3. 国際連盟 4. 国際連合

問2 1880年に大阪で「国会期成同盟」が結成された背景や、当時の運動の特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。

（2020年 千葉県公立入試 類似）

1. 士族による武力反乱が失敗に終わった後、言論によって全国的な規模で政治改革を求める運動が主流となった。
2. 大日本帝国憲法が公布されたことを受け、議会での多数派工作を行うために全国の有志が集まった。
3. 条約改正を有利に進めるため、政府の官僚が中心となって民間の意見を集約するために組織された。
4. 板垣退助がフランスの自由主義思想を広めるために、地方の農民を排除して士族のみで組織した。

問3 19世紀から20世紀にかけてのアフリカ大陸の状況を説明した文として、正しいものはどれですか。（2018年 歴史公立入試 類似）

1. エチオピアとリベリアの2か国のみが、植民地化を免れて独立を維持していた。
2. すべてのアフリカ諸国は、第一次世界大戦が始まるまでにイギリスかフランスの植民地となった。
3. エチオピアはインドと同じように、非暴力不服従の運動を展開して独立を守った。
4. アフリカ東部の「アフリカの角」に位置する国々は、すべてドイツの保護国となった。

問4 1881年に「10年後の国会開設」が約束されたことを受け、翌年に大隈重信を党首として結成された政党はどれか。イギリス流の議院内閣制をモデルとし、都市の商工業者や知識層を中心に支持を広げた組織の名称を答えなさい。（2016年 茨城県公立入試 類似）

1. 立憲改進黨 2. 自由党 3. 立憲政友会 4. 立憲帝政党

問5 1872年の学制発布から明治時代後半にかけての小学校就学率の推移について述べた文として、当時の統計状況を正しく説明しているものはどれですか。1870年代後半には男子が40%を超えていたのに対し女子は20%未満であったという記録を踏まえて答えなさい。（2017年 富山県公立入試 類似）

1. 当初は男女間で大きな格差があったが、1905年頃には男女ともに就学率が90%を超える極めて高い水準に達した。
2. 男子の就学率は制度の発足当初から90%を超えており、欧米諸国と比較しても遜色のない教育水準を維持し続けた。
3. 女子の就学率は順調に伸び続け、1880年代の初めには既に50%を突破し、男子の数値に迫っていた。
4. 日露戦争の影響で労働力が不足したため、1905年頃の就学率は男女ともに一時的に50%を下回るまで低下した。

問6 明治維新後の日本において、板垣退助らが政府に対して「国民が選んだ議員による議会」の開設を求めた文書が提出されました。この文書の名称と、その後、板垣退助を党首として結成された日本初の政党の組み合わせとして正しいものを選択してください。（2023年 佐賀公立入試 類似）

1. 民撰議院設立建白書 - 自由党 2. 五箇条の御誓文 - 立憲改進黨 3. 民撰議院設立建白書 - 立憲改進黨 4. 国会開設の勅諭 - 自由改進黨

問7 明治政府は、19世紀後半に「富国強兵」をスローガンとして掲げ、近代化政策を推し進めました。この政策の一環として、欧米諸国との不平等条約の改正を有利に進めるために行われた、政治制度上の大きな変化として正しいものはどれですか。（2019年 広島公立入試 類似）

（2019年 広島公立入試 類似）

1. 大日本帝国憲法を公布し、それに基づく日本最初の国会として帝国議院を開設した
2. 教育基本法を制定し、すべての子どもが平等に教育を受けられる体制を整えた
3. 財閥解体を断行し、欧米のような自由な経済競争が行われる環境を整備した
4. 地方自治法を施行し、各地域が独自の判断で条約を交渉できる仕組みを作った

問8 1886年、紀伊半島沖でイギリスの貨物船が沈没した際、日本人乗客25名全員が犠牲となった一方で、船長らイギリス人乗員はボートで脱出し助かりました。後の裁判においてイギリス人船長らが極めて軽い罪で済まされた根拠となり、当時日本が不平等条約によって外国に認めていた権利は何ですか。（2026年 鹿児島公立入試 類似）

1. 領事裁判権（治外法権） 2. 関税自主権 3. 最恵国待遇 4. 租借権

答え合わせ・解説

問1	答え 1 三国協商	19世紀末からドイツが皇帝ヴィルヘルム2世のもとで海軍の増強や植民地獲得を進める「世界政策」を展開したため、それまで植民地争いなどで対立していたイギリス、フランス、ロシアの3カ国が共通の敵を意識して歩み寄りました。この3カ国による対ドイツの協力体制が、第一次世界大戦における陣営の基礎となりました。
問2	答え 1 士族による武力反乱が失敗に終わった後、言論によって全国的な規模で政治改革を求める運動が主流となった。	1877年の西南戦争を最後に士族の武力反乱が終息すると、反政府運動の中心は言論による自由民権運動へと完全に移行しました。国会期成同盟の結成は、それまで各地で個別に活動していた団体が全国的に連携し、士族だけでなく豪農らも巻き込んだ広範な国民運動へと発展したことを象徴する出来事です。
問3	答え 1 エチオピアとリベリアの2か国のみが、植民地化を免れて独立を維持していた。	当時のアフリカにおいて、ヨーロッパの植民地にならずに独立を維持できたのはエチオピア帝国とリベリア共和国の2か国だけでした。エチオピアは1896年のアドワの戦いでイタリア軍を破ることで独立を守り、リベリアはアメリカの影響下で建国された経緯から独立が認められていました。
問4	答え 1 立憲改進黨	国会開設の勅諭が出された後、具体的な憲法の内容や政治の仕組みをめぐって政党が組織されました。大隈重信が結成した立憲改進黨は、イギリスをお手本とした穏健な立憲政治を主張しました。これに対し、板垣退助が結成した自由党はフランス流の急進的な民主主義を理想とし、農村部を中心に支持を得たという違いがあります。
問5	答え 1 当初は男女間で大きな格差があったが、1905年頃には男女ともに就学率が90%を超える極めて高い水準に達した。	明治政府は1872年に学制を發布し、身分や性別に関わらず教育を受けさせる国民皆学を目指しました。当初は授業料の負担や貴重な労働力である子供を学校へ通わせることへの抵抗感から、特に女子の就学率が低く、男子の半分以下という時期もありました。しかし、その後の義務教育期間の延長や教育制度の整備、国民の意識の変化により、日露戦争が終結する1905年頃には男女ともに就学率が90%を超えるまでになりました。
問6	答え 1 民撰議院設立建白書 - 自由党	1874年、板垣退助や後藤象二郎らは「民撰議院設立建白書」を提出し、藩閥政治を批判して公選議会の設立を求めました。これが自由民権運動の出発点となりました。その後、運動の高まりの中で1881年に板垣を党首とする自由党が結成されました。「国会開設の勅諭」は政府が10年後の国会開設を約束した宣言であり、建白書とは立場が異なります。
問7	答え 1 大日本帝国憲法を公布し、それに基づく日本最初の国会として帝国議会を開設した	当時の日本にとって、欧米諸国との不平等条約を改正するためには、日本が法整備の整った近代国家であることを国際的に示す必要がありました。そのため、明治政府はプロイセン（ドイツ）の憲法などを参考に大日本帝国憲法を制定し、それに基づく立法機関として帝国議会を設置することで、立憲政治の形を整えました。選択肢にある教育基本法や財閥解体は、第二次世界大戦後の改革に関連する事項です。
問8	答え 1 領事裁判権（治外法権）	当時の日本は欧米諸国との間に不平等条約を締結しており、外国人が日本国内で罪を犯しても、その国の領事が自国の法律で裁く領事裁判権（治外法権）を認めていました。この事件でイギリス人船長が不当に軽い刑となったことは、法的な不平等を日本国民に強く印象付け、条約改正を求める世論を爆発させる要因となりました。